

# 森林環境保全整備事業請負契約書（案）

## 1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積	請負 予定数量	請負 予定単価	請負予定金額	事業場所	生産完了 検査場所
森林環境保全 整備事業（躑 躑尾山1137保 育間伐【活用 型】）	スギ 外材	生産資材 等内訳書 のとおり	13,000 m <sup>3</sup>	—	請負金額  円也  （うち取引に係る消 費税及び地方消費税 の額 円也）	高知県安芸 郡北川村菅 ノ上  躑躑尾山国 有林1137林 班い小班外 2	山 元  最 終

（注）「取引に係る消費税及び地方消費税の額」は、消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定により算出したもので、請負金額に110分の10を乗じて得た額である。

請負予定金額欄の（ ）部分は、請負者が課税事業者である場合に使用する。

## 2 事業期間

自 契 約 締 結 日 の 翌 日  
至 令 和 年 月 日

## 3 選択条項

別冊約款中选择される条項は次のとおりである。

（選択されるものは○印、削除されるものは×印。）

適用削除の区分	選択事項		選択条項
×	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
×	銀行、発注者が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
○	支給材料及び貸与品		第15条
×	前金払	分の 以内	第35条第1項
×	中間前金払		第35条第4項
○	部分払	月 1 回 以 内	第38条
○	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

（注）国庫債務負担行為に係る契約にあつては、別紙を添付する。

## 4 支給材料及び貸与品

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日
封印パンチ（貸与品）		1 挺	安芸森林管理署	契 約 締 結 日

5 特約事項

- (1) 請負者は、森林作業道により素材の搬出作業を行う場合は、請負者の責において適宜、当該森林作業道の水切り処理を行い、異常気象等による森林作業道及び林地における被害の未然防止に努めなければならない。
- (2) 請負者は、林道端、流出のおそれのある箇所、法令で制限される箇所等に集積された末木、枝条等の処理にあつては、山元へ逆送する等して、事業実行上、支障のない場所へ移動しなければならない。

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書並びに 令和 年 月 日に交付した 国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款、製品生産事業請負標準仕様書、四国森林管理局製品生産事業請負仕様書及び造林事業請負標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 高知県安芸市川北乙1773番地6  
分任支出負担行為担当官  
安芸森林管理署長 石 原 敬 史 印

請負者 住所  
氏名  
印

[注] 請負者が共同事業体を結成している場合

請負者 ☐☐☐☐☐☐共同事業体  
代表者 住所  
氏名  
印

構成員 住所  
氏名

## 国庫債務負担行為に係る契約の特則

適用削除 の 区 分	選 択 事 項				選 択 条 項
○	各会計年度における請負金の 支払限度額	令和 7 年度		円	第40条第 1 項
		令和 8 年度		円	
		令和 9 年度		円	
○	支払限度額に対応する各会計 年度の出来高予定	令和 7 年度		円	第40条第 2 項
		令和 8 年度		円	
		令和 9 年度		円	
×	前払金				第41条
×	翌会計年度の前払金相当額	円			第41条第 3 項
○	部分払				第42条
×	前払金の支払を受けている場 合の部分払額の決定	( a )			第42条第 2 項
		( b )			
○	各会計年度において部分払を 請求できる回数	令和 7 年度	11	回	第42条第 3 項
		令和 8 年度	12	回	
		令和 9 年度	12	回	

## 特記仕様書

- 1 発注者は、事業の完了に当たって、設計図書及び四国森林管理局が定める製品生産事業請負監督・検査要領の検査基準に適合していると認めたときは、合格と判定する。
- 2 請負者は、設計図書の定めにより森林作業道作設の実行管理を行うものとし、実行記録写真にあっては、森林作業道、構造物等の作設前、作設中及び作設後の状況を撮影するものとする。
- 3 請負者は、提出した技術提案書（別紙）の評価項目事項を確実に履行しなければならない。

なお、発注者は、請負者の責めに帰すべき事由により技術提案に不履行があると認めたときは、請負金額の減額又は損害賠償請求を行うことがあるほか、技術提案の履行状況が評価した水準に満たないと認めたときは、請負事業成績評定の採点において評価項目ごとに3点を減ずるものとする。
- 4 請負者は、発注者が国有林材の供給調整を行う必要があると認めたときは、国有林材の供給の時期及び数量の調整に関して、可能な範囲で発注者に協力するよう努めるものとする。

生産資材等内訳書

<伐倒対象資材：立木>

林 小 班	林 齢	樹 種	面 積 (ha)	本 数 (本)	立木材積 (m³)	立 木 単材積 (m³)	本 数 伐採率 (%)	備 考
1137い	63	スギ ヒノキ 計	14.72	7,176	3,843.76	0.54	35	保育間伐【活用型】
			7.32	3,759	1,032.15	0.27	35	
			22.04	10,935	4,875.91			
1137ろ	58	スギ ヒノキ 計	73.15	32,913	14,200.26	0.43	35	保育間伐【活用型】
			73.15	32,913	14,200.26			
1137は	58	スギ ヒノキ 計	4.62	1,737	639.89	0.37	35	保育間伐【活用型】
			4.62	1,737	639.89			
合 計		スギ ヒノキ 計	92.49 7.32 99.81	41,826 3,759 45,585	18,683.91 1,032.15 19,716.06			

<集材対象資材：立木（請負予定数量：素材）>

林 小 班	林 齢	樹 種	面 積 (ha)	本 数 (本)	立木材積 (m³)	請 負 予定数量 (m³)	備 考
1137い	63	スギ ヒノキ 計	14.72	7,176	3,843.76	2,450	胸高直径12cm上
			7.32	3,759	1,032.15	670	
			22.04	10,935	4,875.91	3,120	
1137ろ	58	スギ ヒノキ 計	73.15	32,913	14,200.26	9,220	胸高直径12cm上
			73.15	32,913	14,200.26	9,220	
1137は	58	スギ ヒノキ 計	4.62	1,737	639.89	420	胸高直径12cm上
			4.62	1,737	639.89	420	
1137い 外2(道)	—	スギ ヒノキ 計	0.56	708	378.28	240	森林作業道 作設支障木
			0.01	14	4.44		
			0.57	722	382.72	240	
合 計		スギ ヒノキ その他 計	93.05 7.33 100.38	42,534 3,773 46,307	19,062.19 1,036.59 20,098.78	12,330 670 13,000	

作業工程等内訳書

作 業 工 程 等		単位	作業工程等別数量	作 業 方 式	備 考
林 内 作 業	全 木 伐 倒	m <sup>3</sup>	20,099	人 機 併 用	数量は、立木材積 ※小数以下は四捨五入
	集 造 材	m <sup>3</sup>	13,000	機 械 使 用	数量は、請負予定数量
	山 元 巻 立	m <sup>3</sup>	1,000		
	森林作業道修繕 ( 0.45 m <sup>3</sup> )	h	140		
林 外 作 業	山 元 ・ 最 終 積 込	m <sup>3</sup>	12,000		山元積込・最終積込の計
	トラック運材 1	m <sup>3</sup>	1,488	10 t トラック	平均運材距離 34.6 km 【魚梁瀬土場】
	トラック運材 2	m <sup>3</sup>	4,848	10 t トラック	平均運材距離 52.2 km 【伊尾木土場】
	トラック運材 3	m <sup>3</sup>	12	10 t トラック	平均運材距離 57.4 km 【伊尾木土場(久木経由)】
	トラック運材 4	m <sup>3</sup>	12	10 t トラック	平均運材距離 67.0 km 【伊尾木土場(北川村経由)】

※平均運材距離は、片道の距離である。

(生産完了検査場所別数量内訳)

生産完了検査場所	単位	生産完了検査場所別 請 負 予 定 数 量	生産完了地点	備 考 ( 販 売 方 法 )
山 元	m <sup>3</sup>	1,000	山 元	一般競争入札等
最 終	m <sup>3</sup>	5,640	山 元	産物販売委託
最 終	m <sup>3</sup>	6,360	最 終	製品システム販売
合 計		13,000		

※各生産完了検査場所別請負予定数量は、発注者の指示により変動することがある。

## 事業計画上の考慮事項

森林環境保全整備事業事業（躑躅尾山1137保育間伐【活用型】）

会社名：

- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- ☐ 標記については、標準案に基づき実施します。
- ※ いずれかに■またはレ点を記入すること。

◆ 提 案 事 項	事 業 の 手 順 等 の 工 夫 等
項 目	具 体 的 な 実 施 方 法

（備 考） 参考図書を添付する場合は、別に2枚程度とする。

注） 提案事項の履行状況の確認方法について、実行管理基準・作業仕様書等に定める以外の方法を提案する場合は具体的な方法を記入する。

事業期間の設定・工程管理  
森林環境保全整備事業事業（躑躅尾山1137保育間伐【活用型】）

工 程 表 （ 年 度 分）																											
		履行期間									年			月			日			会社名：							
工 程	単位	数 量	月			月			月			月			月			月			月			月			備 考
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
■ 工程管理に係わる技術的所見																											

注 1. 技術提案をする場合は、必ず「工程管理に係わる技術的所見」欄に提案事項を記載すること。

注 2. 提案事項の履行状況の確認方法について、実行管理基準・作業仕様書等に定める以外の方法を提案する場合は具体的な方法を記載すること。

注 3. 複数年度にわたる事業の場合は、各年度毎に別葉で作成すること。

注 4. 複数年度にわたる事業の場合は、初年度及び2年度目にあつては毎年度1回以上の部分払（部分検査）を計画し、その時期を明示すること。また、最終年度（完成年度）は完成払（完了検査）の時期を明示すること。

注 5. 複数年度にわたる事業においては、年度毎の間伐等予定区域、路網整備予定線及び植付が判読できる図面を添付すること。



## 発注者が指定した課題への対応

森林環境保全整備事業事業（躑躅尾山1137保育間伐【活用型】）

会社名：

- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- ☐ 標記については、標準案に基づき実施します。
- ※ いずれかに■またはレ点を記入すること。

◆ 指 定 課 題	車両系と架線系の併用による作業の効率化への工夫
項 目	具 体 的 な 実 施 方 法

（備 考） 参考図書を添付する場合は、別に2枚程度とする。

注） 提案事項の履行状況の確認方法について、実行管理基準・作業仕様書等に定める以外の方法を提案する場合は具体的な方法を記入する。

## 作業における品質確保

森林環境保全整備事業事業（躑躅尾山1137保育間伐【活用型】）

会社名：

- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- ☐ 標記については、標準案に基づき実施します。
- ※ いずれかに■またはレ点を記入すること。

◆ 提 案 事 項	品 質 を 確 保 す る た め の 作 業 方 法 等 の 工 夫 等
項 目	具 体 的 な 実 施 方 法

（備 考） 参考図書を添付する場合は、別に2枚程度とする。

注） 提案事項の履行状況の確認方法について、実行管理基準・作業仕様書等に定める以外の方法を提案する場合は具体的な方法を記入する。

## 安全確保に向けた対策

森林環境保全整備事業事業（躑躅尾山1137保育間伐【活用型】）

会社名：

- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- ☐ 標記の技術提案については以下のとおり提案します。  
なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- ☐ 標記については、標準案に基づき実施します。
- ※ いずれかに■またはレ点を記入すること。

◆ 提 案 事 項	作 業 時 の 安 全 確 保 に 向 け た 対 策 等
項 目	具 体 的 な 実 施 方 法

（備 考） 参考図書を添付する場合は、別に2枚程度とする。

注） 提案事項の履行状況の確認方法について、実行管理基準・作業仕様書等に定める以外の方法を提案する場合は具体的な方法を記入する。